

下水道管

普段は見えない下水道管ですが、道路の下には太さ100mm~1,350mmの下水道管が埋設されています。油などが固まると詰まりの原因となるので、順番に管の清掃を行っています。

メンテナンス費用：約1,600万円/年(令和2年度決算)
1人当たり：約670円【メンテナンス費用/処理区域人口24,000人】



埋設された下水道管



清掃前の管内（管内に油脂が溜まる）

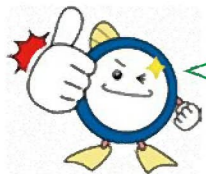


清掃後の管内

下水道はキレイな海を守ります

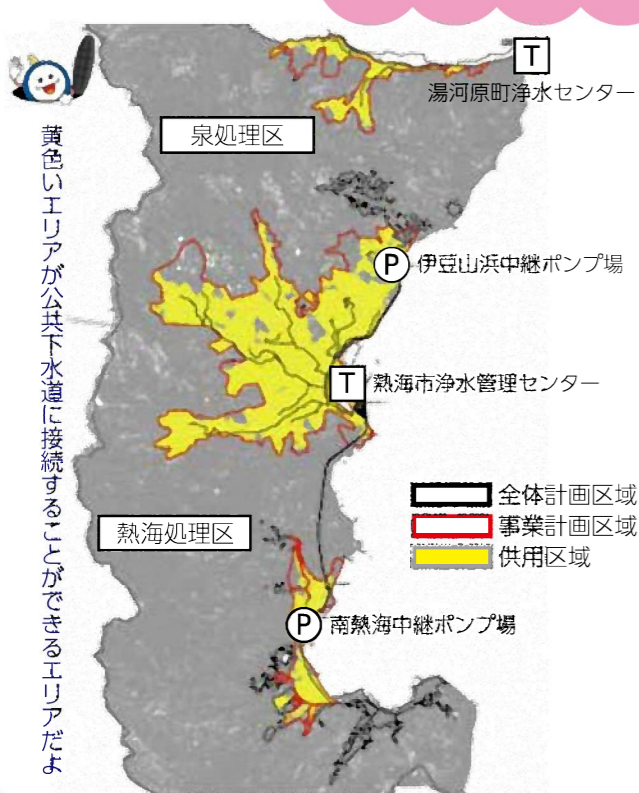
下水道は、下水処理を円滑に行うために計画的なメンテナンスを実施しながら、常に動き続けています。清潔な環境で暮らせるのも、キレイな海で遊べるのも、下水道が整備されているからです。

下水道は見えないところで
みなさんの安心で快適な生活のために活躍しています!!



静岡県が実施した令和4年度静岡県内海水浴場水質調査では、市内の海水浴場(熱海サンビーチ・長浜・網代温泉)の水質は、特に良好な水質とされるAAの判定結果となりました。キレイな海ということがわかるね! 右の写真は長浜海水浴場だよ!

公共下水道に接続しよう



【9月10日は下水道の日】

9月中に下水道未接続の家庭や事業所へ職員が訪問します

3年以内に新たに下水道へ接続可能となった地区(上多賀・下多賀・西山町の一部)の未接続の家庭や事業所へ、職員が公共下水道接続のお願いにうかがいます。

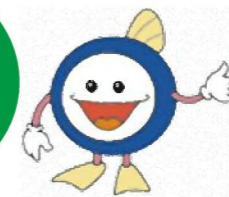
下水道接続のメリットについて、ご理解いただき公共下水道への接続をぜひご検討ください。
※新型コロナウイルス感染拡大状況により、訪問する時期を変更する場合があります

問い合わせ先

下水道課 施設室
☎ 0557(86)6526
6528



熱海市の下水道



下水道のマスコットキャラクター スイスイです! 下水道について案内するよ!



市ホームページ 昨年の記事 (キレイな水を守るには)

キレイな水を守る下水道のしくみ

下水道施設って何があるの?

まちを清潔に保ち、海や川などの身近な環境を守る下水道。普段は目にする事の少ない下水道ですが、市にどのような下水道施設があるか知っていますか?

今回は下水道施設の種類や役割、管理状況について紹介します。

下水道管

道路の下に網の目状に埋設され、各家庭などから排水された汚水を浄水管理センターへ流す施設です。
※熱海市内総延長：約128km



中継ポンプ場 (南熱海・伊豆山)

下水道管をとおり低い土地に集められた汚水を、ポンプで押し上げて、浄水管理センターへ送る施設です。



マンホール

下水道管の点検・清掃などの管理のために、人が入るための施設です。
※熱海市内設置箇所：約7,000箇所



浄水管理センター

昭和60年に運転を開始し、熱海・南熱海・伊豆山地区の汚水を処理し、キレイになった水を海に放流しています。



今回は下水道施設の中で規模の大きい浄水管理センターと、下水道管について詳しく紹介します。

浄水管理センター

浄水管理センターでは、1日に約18,000m³のトイレや台所から排水された汚水・温泉汚水を処理しています。水の汚れは、ゴミなどを取り除いた後、微生物が汚れを食べ、さらに沈殿させて処理しているため、きれいな水に再生するまでに24時間以上の時間を必要とします。

キレイになった水は、最後に塩素消毒して海に放流しています。施設が大きいので、老朽化した設備を毎年計画的に修繕しています。 ※18,000m³=25mプール 約30杯分

水処理・メンテナンス費用：約3億1,000万円/年(令和2年度決算)
1人当たり：約1万3,000円【水処理・メンテナンス費用/処理区域人口24,000人】

